

町の公共交通機関について

質問 デマンド交通の利便性向上は

町▶ アンケートを基に改善点を精査する



▲動画配信が見られます



たかはし あきら
高橋 輝

問 デマンド交通の利便性向上は。

答 [ふるさと定住課長]
「停留所と自宅との距離が遠い」との声があり、アンケートを基に改善点を精査する。

問 停留所の新規設置申請は可能か。

答 [ふるさと定住課長]
停留所は地域のごみステーションに設置しており、既存の停留所から500m離れていれば設置可能。新たな停留所設置も増えている。



黒田原定住促進住宅ウイングヴィーナスにある停留所看板

問 車いすで乗車可能なワンボックス車へ更新を推進する考えは。

答 [ふるさと定住課長]
車いす利用者への対応も工夫して運行していることなどから、小回りの利かないワンボックス車への更新計画はない。

問 介助者利用料金が高い。利用者と同額に値下げする考えは。

答 [ふるさと定住課長]
既存の交通機関と協議し運行しており、現在値下げの考えはない。

問 那須塩原駅、黒磯駅、湯本の病院等への運行便設定の考えは。

答 [ふるさと定住課長]
車両台数の増加による様々な負担により持続的運行は困難と予想されるため、現在は考えていない。

SDGs 促進について

質問 LGBTQ対策としての条例改正は

町▶ 改正の必要性を検討する

問 町における*LGBTQについての課題は。

答 [生涯学習課長]
一般的には偏見、差別、婚姻等に課題があると認識している。

問 現在の「那須町男女共同参画推進条例」ではLGBTQ対策として不十分。渋谷区の事例等を参考に改正する考えは。

答 [生涯学習課長]
改正の必要性を検討したい。

問 学校における理解促進のための方策は。

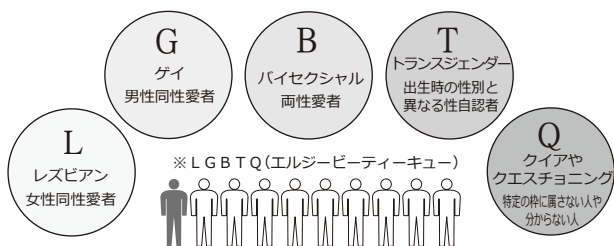
答 [学校教育課長]
道徳、保健体育等で発達段階に応じて教育を実施している。教職員も研修に参加している。

問 中学校での制服選択制を導入する考えは。

答 [学校教育課長]
制服購入時に選択できるよう準備を進めている。

問 *同性パートナーシップ制度を導入する考えは。

答 [町長]
先進自治体の取り組み、効果等を調査研究していきたい。



日本のLGBTQ割合 3%~10%

※同性パートナーシップ制度
各自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明書を発行する制度。
2021年度10月現在130の自治体で施行。